

IV 和漢薬研究所夏季セミナー

和漢薬研究所が主催する初めての夏季セミナーが、8月28日から30日まで富山県大山研修センターで開催されました。「和漢薬に触れる」をメインテーマにした今回のセミナーでは、和漢薬及びそれを用いる治療体系がどのようなものかを若い方々に知ってもらうことを目的として、和漢薬の歴史から、漢方方剤の製剤化の問題、和漢薬の化学と薬理、漢方の臨床などに関する講義が行われ、また実際に和漢薬に触れていただく趣向として体験実習が設けられました。夕方からは和漢薬談義が自由な雰囲気の下で行われ、内容豊富な2日間でした。講師として和漢薬研究所の先生方の他に、医学部和漢診療学講座の先生方及び製薬企業の方々もお招きしました。受講者は全国の大学生、大学院生、社会人等48名（内15名が学内者）に及び、セミナー終了後に実施したアンケートでは、和漢薬に対する興味が持てた、交流が深まった等々の感想が寄せられ、大変好評でした。今後も継続して開催することが決まっています。第一回のセミナーの内容は以下のとおりです。

日 程 表

第1日目：8月28日(水)

13:30 受付／登録

- ・和漢薬研究所夏季セミナーの開催にあたって

和漢薬研究所・所長 教授 渡邊裕司

- ・和漢薬の歴史

資源開発部門 教授 難波恒雄

- ・漢方治療：疾患／証／方剤

医学部・和漢診療学講座 助手 喜多敏明

- ・漢方方剤の製剤化と諸問題

漢方製剤の製剤と品質管理 (株) ツムラ中央研究所 丸山英之

漢方エキス製剤の開発について 小太郎漢方製薬 (株) 研究所 近藤誠三

漢方製剤の製造管理 鐘紡 (株) 漢方研究所 大窪敏樹

18:00～ 夕食／入浴

- ・第1回和漢薬談義

「臨床における漢方治療」

医学部・和漢診療学講座 助手 新谷卓弘

第2日目：8月29日(木)

- ・和漢薬のききめを科学する。
生物試験部門 助教授 松本欣三
- ・和漢薬で痛みが治まるか？
臨床利用部門 教授 倉石 泰
- ・骨に効く和漢薬成分
化学応用部門 教授 門田重利

12:30 昼食／自由時間

- ・天山山脈の薬物資源とウイグル医学
資源開発部門 教授 難波恒雄
- ・体験実習(1)～生薬を見て、触れて、感じてみよう！
附属薬効解析センター長 助教授 小松かつ子
- ・体験実習(2)～漢方湯液、丸薬作りを体験しよう！ 修治について
細胞資源工学部門 教授 服部征雄
病態生化学部門 教授 済木育夫
資源開発部門 技官 山路誠一

18:00 夕食／入浴

第2回和漢薬談義

『和漢薬を知り活かすために(客観知と経験知の共生)』

住友金属工業(株)ハイクォリティライフ研究所 谿 忠人

第3日目：8月30日(金)

朝食後、希望により立山薬草観察(オプション)

和漢薬研究所・民族薬物資料館の見学、あるいは任意で帰途へ